

外国のお客様を迎えて

椿台に先日、外国人が30人ほど訪れ、プレーを楽しんでいった。アメリカ、カナダ、イギリス、南アフリカなどからのゴルフ愛好者で、秋田港に寄港した豪華客船の乗客の皆さん▼聞けば、国内のゴルフ場を巡っており、椿台は5か所目で、しかも最後のラウンドだったとのこと。小雨混じりの肌寒い天候もものかは笑顔で楽しくラウンドしていた姿が印象に残る▼30人もの欧米などからのお客様を迎えたのは椿台として初めて。フロント、レストランのスタッフ、キャディーとも「英語話せない。どうしよう」と不安な顔を見せていたが、そこは身振り手振りを交えたボディーランゲージで、見事にコミュニケーションを取っていた。その奮闘ぶりは見ていて頼もしささえ感じられたほどである▼外国人のお客様たちの何でも楽しんでやろうという気概には驚かされた。プレーのみならず、昼食の楽しみ方もそれぞれ。寒さのせいか、「ホットジャパニーズサケ」(熱燗)をオーダーする人も多かった。徳利から日本酒用の小ぶりのコップに器用にお酒を注ぎながら楽しんでいる姿が目立った▼ラウンド後もレストラン内でアルコール片手に寛ぎ、ゆったりと談笑していた。日本人のプレーヤーの多くがラウンド後、すぐに帰るのとは対照的で、「お国柄」がこんなところにも表れていた▼帰り際には、複数の人から「ワン・オブ・ザ・ベスト・ゴルフコース」「ベリー・ビューティフル・コース」とのお褒めの言葉もいただいた。これからも外国人のお客様を迎えることが増えると思う。「プレーヤーズ・ファースト」(お客様第一)で対応したい。もちろんスタッフの英語力も上げないと・・・。(2025・05・03)